



部会だより

コロイドおよび界面化学部会 事業企画委員会の活動紹介

はじめに

コロイド・界面化学は学際的な色合いが強く、洗剤・化粧品・食品・膜・塗料・インキ・触媒・電子材料・電池・デバイス・バイオなど、私たちの日常生活に欠かせない製品開発から最先端の技術まで、とても重要な役割を果たしています。コロイドおよび界面化学部会の事業企画委員会では、分野や立場を超えた議論や交流の場を作ることが、新たな学術の創成や継続的な発展につながるのと考えから、多くの方に参加していただけるような講座を企画・開催しています。毎回の企画は基礎から専門、応用まで幅広い内容を扱い、トレンドに合わせたテーマを担当委員が設定します。魅力的な講師の方をお招きして、様々な分野の参加者の皆様にご満足いただけるよう、内容も工夫しています。ここでは、今年度、これまでに開催しました企画と今後の予定についてご紹介します。

現代コロイド・界面化学基礎講座

「現代コロイド・界面化学基礎講座(界面コロイドラーニング)」は伝統あるセミナーで、界面・コロイドの幅広い基礎を2日間に凝縮した、「本当にわかる講義」をコンセプトにしています。主に企業の若手社員を対象とした講座ですが、実際には企業だけでなく、学生や産学の研究者など、幅広い年齢層の方が参加されています。本年度は、東京(6月13、14日)・大阪(6月27、28日)の2会場で



対面開催しました。参加者は両会場ともに80名以上と、例年どおりの盛況となりました。講義後の講師陣にじっくり個別質問できる質問コーナーも本講座の売りの1つで、各講師の前に長蛇の列ができていました。また今年度からの試みとして、講義後の見逃し動画配信も行い、参加者の学びが深まるよう工夫を凝らしています。

キャリア探セッション@討論会

学生の皆さんが、社会人との交流を通じて今後の研究・仕事などのキャリア形成を考える機会となるよう、毎年、「キャリア探セッション」をコロイドおよび界面化学討論会の夕方から夜にかけて開催しています。今年は東北大学での討論会の初日(9月17日)に、曾田香料の兼井典子先生、東京理科大学の酒井健一先生による講演会の後、グループセッションとして、学生とファシリテーター(事業企画委員・一般部会員)が小グループでディスカッションを行いました。参加した学生からは、将来のキャリアについての考えを深められるとともに、ほかの大学の学生とも交流できて良い刺激となるとの声が聞かれています。

これからの部会事業

「第42回コロイド・界面技術シンポジウム」を、2025年1月23日から24日にかけて、同志社大学東京オフィスにて開催します。このシンポジウムは、主に企業の方に向け、基礎研究や先端技術を学び商品開発などに役立てられるように企画されているものです。今回は「温故知新：経験を知り新たな製剤研究への展開」のテーマで、分野のオピニオンリーダーの研究の最前線と、若手ホープ研究者からの最新研究の紹介が予定されています。

また、界面・コロイドに関わる研究の最先端を発信する、「先端技術講座」を2025年3月14日に同志社大学東京オフィスにて開催します。今回のテーマは「静的秩序および動的秩序を有するソフトマテリアル～人工材料から生体組織まで～」で、ソフトマテリアルの基礎、また、人工材料から生体組織までの応用における最先端のご研究を、著名な先生方にご講演いただく予定です。講師との白熱した議論が展開される場となることを期待しています。

今後の部会事業の詳細については、随時、「化学と工業」誌、部会ホームページや化学会のメーリングリスト等を通じてご案内いたしますので、ぜひご注目下さい。多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

〔事業企画委員長 石田尚之(同志社大学)〕

© 2024 The Chemical Society of Japan